（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ぱれっと城間			
○保護者評価実施期間	2025年3月3日		～	2025年3月28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○従業者評価実施期間	2025年3月3日		～	2025年3月28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マニュアルにより、職員が統一した対応を行い、安定した支援を提供できています。また、保育士が多く在籍していることで、子どもの成長や発達に応じた支援を実践しやすい環境が整っている。	マニュアルの見直しと職員研修を定期的に行い、支援の質を維持しながら、ミーティングや記録の統一で支援の一貫性を確保している。	定期的な研修や勉強会を通じて専門性を高め、支援の質を向上させるとともに、子どもの特性や成長に応じた柔軟な支援計画を立て、より細やかな対応を実践していきたい。
2	地域移行に向けた取り組みとして、地域交流を積極的に行い、住民との関係を深める努力を続けている。	近隣の公園や児童センター、公共施設でのルールやマナーを守れるよう、事前告知を徹底し、社会の中でも適切な振る舞いができるよう支援している。また、交通ルールの指導も行い、安全な移動ができるようサポートしている。職員が統一した支援を提供できるよう、支援方法をマニュアル化し、均一な対応を実施している。	次のステップアップとして、学童や部活動、習い事などへ円滑に移行できる方法を共に考え、具体的な取り組みを進めていきたい。また、地域との交流や公共施設でのマナー教育についても、今後の活動プログラムに継続的に取り入れ、より充実した支援環境を整えていきたい。
3	安心・安全な支援	非常時の対応については各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しています。また、児童の日々の体調や情緒の状況については、保護者と密に連携し、その日の様子に応じた支援を行うことで、より適切なケアを提供できるよう努めている。	様々な災害や危険を想定し、職員の対応力向上に努めるほか、SNSを活用して避難訓練の情報を発信し、保護者の理解と協力を深めていきたい。また、児童自身が体調や気持ちに気づけるような支援を行い、心身の健康を守る取り組みを進めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援や地域連携の取り組みが十分に進んでおらず、事業所が地域に開かれた形で運営できていないことが課題となっており、防災時の支援体制の強化を含め、地域との協力関係を深めながら、交流の場の整備を進めていく必要がある。	地域に高齢者が多く、住宅街で人が集まる場所が少ないため、交流の機会が少ない。事業所の存在が知られていないことが関心の低さにつながっている。外部との交流イベントが少ないことで地域との関わりが弱くなっており、防災時においても地域との協力体制が十分に整っていないため、災害時の支援や助け合いが難しくなる可能性がある。	地域とのつながりを深めるために、学校や自治会と協力しながら清掃や防災訓練を実施し、住民との交流の場を作ることで事業所の認知度を高め、定期的なイベントや活動を通じて地域との連携を深めながら、支援の充実と環境の改善に向けた取り組みを進めていきたい。
2			
3			